

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		太陽光発電システム設置補助事業(個人)				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	市民部	課長名 上山 幸顕
	施策	7	地球温暖化防止対策の推進			所属課	環境衛生課	担当者名 橋本 武和
	基本事業	20	地球温暖化防止活動の推進			所属班	環境衛生班	(内線) 1143
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果
		1	4	1	7	10182		1
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了		<input checked="" type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H22 年度)
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	コスト削減優先度評価結果
								10

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	自然エネルギーの利用促進のため、太陽光を利用することにより、化石燃料の使用を抑え、地球温暖化防止対策に取り組む。 21年度当初は環境学習の一環として合志小に設置する計画だったが、経済危機対策に伴う文科省の「スクール・ニューディール構想」により21~22年度で市内小中学校に設置することとなった(学校教育課担当) 民主党が打ち出した政権公約(CO2 25%削減)により市民の太陽光に対する意識が高まっている。補助制度は国、県、また近隣市町も制度化している。温暖化に伴い地球環境の悪化が進行する。環境問題に関心を持つ市民が増える。
【業務の流れ】	要項作成、住民への広報(ホームページ、広報掲載)、補助金交付申請受付、審査、交付決定通知、設置完了届け受理、検査、補助金支払い事務。
【主な予算費目】	役務費、負担金補助及び交付金(補助金)
【意見や要望】	議員、市民から太陽光発電システム(個人設置)設置補助金の要望が多数寄せられている。 議会からは、一般質問で補助を制度化するようとの意見があった。 市民からマニフェストで19年度から実施するとなっている。近隣自治体は補助制度があるが、どうなっているかとの意見が あっている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動)	21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) 22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 要項作成、住民への広報(ホームページ、広報掲載)、補助金交付申請受付、審査、交付決定通知、設置完了届け受理、検査、補助金支払い事務
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位) (単位)
⇒ ア 補助金交付件数	件 イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
市民	⇒ ア 世帯 (単位) 世帯 ⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
太陽光発電システムを設置してもらい消費電力の削減に努めてもらう	⇒ ア 太陽光システム設置世帯数 (単位) 世帯 ⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 太陽光発電システムを設置してもらい消費電力の削減に努めてもらうことで地球温暖化対策(CO2削減)の取組みに繋がるので、成果指標を「太陽光システム設置世帯数」とした。 目標値は延べ数とし21年度未見込み数に、予算計上している世帯数80世帯を加算した「800件」とした。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	件					80	100	100
	イ								
⑤ 対象指標	ア	世帯					20400	20600	20800
	イ								
⑥ 成果指標	ア	世帯					800	900	1000
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円					8,000	8,000
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	8,000	8,000
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人 件 費	正規職員従事人数	人					2	2	2
	延べ業務時間	時間					100	100	100
	(B)人件費計	千円	0	0	0	0	398	398	398
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	0	398	8,398	8,398

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0
0

合志市

事務事業名	太陽光発電システム設置補助事業(個人)	所属部	市民部	所属課	環境衛生課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷ 市民の太陽光に対する意識が高まっており、問い合わせも多数寄せられている状況にあり、目標達成の見込みはある。 なお、設置世帯が目標値を超過した場合、事業費(補助金)の増額補正が生じることも予想される。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策